

吉田尚志 くん(2年)



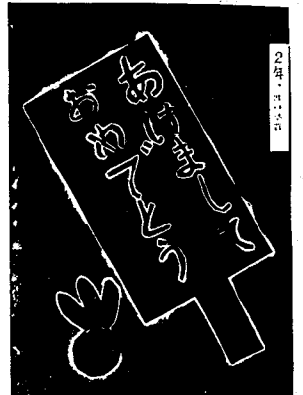
星 かおる さん(5年)



酒井 幹 くん(3年)



鶴田尚子 さん(5年)



田中早苗 さん(2年)

### 住めば都？

NHKが昭和53年2月から5月にかけて実施した「全国県民意識調査」では、今住んでいる所は住み良い所だとする人が82.6%もあり、国民の圧倒的多数は、自分の住んでいる所は「住み良い所」と考えているのがわかります。まさに「住めば都」というところでしょうか。しかし、この回答を各県別にみていくと、やはり大都市のあるところほど「住み良い所」と答えた人が少なくなっています。また、昭和51年11月に東京都が行った「大都市青少年の生活・価値観に関する基本調査」では、地方出身者の40%もの人が、できれば故郷に帰りたいと回答しています。

なお参考までにさきごろ「朝日ジャーナル」が各種の社会生活統計指標を用いて作った「都道府県別・住みやすさランキング」を紹介すると、1位には富山県がランクされています。このほか上位にランクされたのは、いわゆる「地方」で、東京、大阪などは中位です。ちなみに新潟県は12番目にランクされています。

お買物、ご用命は市内で

### 都会は便利だが...

関口 潔さん(大鹿)

高校の同級生のほとんどが県外へ就職したという関口潔さん(大鹿)は、現在、地元にお勤めです。新潟工業高校を卒業後、「就職するならば、自分一人の力を試せるところへ」と、川崎のある会社へ就職。五年間勤めた後、大学へ進み、五十二年三月、卒業と同時にこちらへもどられました。

「最初、言葉が通じないのでまどいました。三か月くらいは言葉に注意を払っていました。私ばかりと鈍感な方なので、よくいわれるような空気が汚れているとか、緑が少なくないというところはあまり感じませんでした。新宿御苑とか

水元公園なんかへよく行きましたが、都会でもさすがに結構、緑はありますよ。それに高校時代から、よく絵を見に東京へ行ってたものですが、いつでも美術館へ絵を見に行けて楽しかったですね。向こうは勉強意欲が多かったです。勉強する環境には恵まれています。施設は何でもそろっていますから、欲求をすべて満たすことができるという面では便利ですね。でも、新潟には、それを待つ楽しみがあるような気がしますが...

「こちらへ帰ってきて感じたことは？」

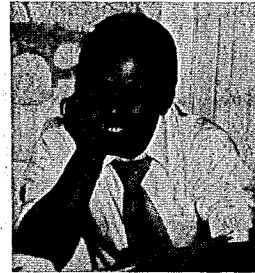
「こちらへ帰ってきてまだ日が浅いのでよくわからないんですが、最近では電話やテレビの普及で、都会も田舎もたいして変わらないんじゃないでしょうか。人びとの考え方もそれほど差があるとは思えませんし。私自身、あまり現実的な方じゃないので、どこでも生活できるような気がしています。どこで生活するにしても、それなりに適応して、一生懸命やらなければならぬということが変わりはないわけですが...

「Uターンが増えているといわれますが？」

「都会では、自分の先が見えてしまっている。一生懸命働いても、せいぜい計算できるくらいは未来しかないですからね。夢がないんです。それに、昔と違って、田舎でも十分生活できるようになったことが大きな原因じゃないでしょうか」

### 県内就職が進み 県外就職は減少

新潟高校と新潟工業高校の卒業生(五十二年度)の



県内就職と県外就職の割合は、前ページで紹介したように八対二となっており、また昭和五十三年三月現在の労働省の全国調査でも

県外就職率は、高校卒業生で、前年の三二・一%から二九・九%と低下しており、県内就職が進み、県外就職が減少しているのは全国的な傾向です。

現在、新潟へお勤めの笠原富司さん(北上)は、昭和五十二年、横浜から新潟へ帰ってこられました。昭和四十三年、新潟工業高校を卒業してすぐ横浜へ行かれ、そこで九年間働かれたわけですが、「都会へあこがれもあったが、親元を離れたくないという気持ちの方が強かった」ということですが、働ながら大学へ行きたいという希望をみたすためにも、都会へ出る必要があったといえます。

「生活しやすいかと思つて、都会での生活は？」

「最初は向こうにずっといる気でした。最初は向こうにずっといる気でしたが、四十八年頃からそんな気持ちになりました。病気になるまで三か月くらい入院を二回経験したんです。まわりに身内はだれもいないし、ずいぶん細い思いをしました。それに将来を考えると、土地は高いし、物価も高いので、家を持つのも大変だということだ...」

「道路舗装が大幅に進んでいて、下水道の建設工事も始まっているのにはビックリしました。それに、まわりの田んぼが、みんな住宅に変わっていることも。まだまだ道路事情は良くないし、冬には雪が降るのに加えて、公共施設も充実していないということもあります。ただこちらは車がないと用が足りないので、道路幅を広げるなどしてもらいたいですね。でもこちらは万事のんびりしていて、気ぜわしくないのがいいですよ」

「若者の地元志向が強まっていますか？」

「いまは資金も都会とたいして変わらないし、自然環境もいいということで、将来を考えると、そういふ気になるのもよくわかります。結局、都会は人口が多すぎて、行政の手がいき届かないという感じなんです。これからは、地方の中小都市の方が発展する可能性があるんじゃないでしょうか」

お買物、ご用命は市内で

花に託して心を贈る  
慶弔用盛花、結婚用花束、ブーケ、会場装飾花  
新津市新町1丁目 TEL(2)1080・(2)5707 **小林生花店**  
(各流派いけばな教室案内)

新年おめでとうございます  
日曜大工用品販売  
電動工具・大工道具・金物・木材他  
木造住宅の新築でも修理でも  
**(株)新生工業**  
新町1丁目(ガス会社の前)  
TEL 2-1873・夜2-0315

あけましておめでとうございます  
ニイッ銘菓 雪かこい  
**駿河屋**  
ニイツ本町2 TEL(2)0543  
銘菓 紅茶餅・松坂羊かん  
**田家屋**  
ニイツ本町4 TEL(2)0430

謹賀新年  
6日まで 景品つき大売出し  
新町2丁目  
**田村電機商会**  
TEL代2-0653